

McAfee Endpoint Security for Mac インストールマニュアル

2022年3月30日

神戸大学 情報基盤センター



[This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 2.1 Japan License.](https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/jp/)

改訂履歴

—	改訂日	改定内容
第1版	2022年3月30日	新規作成
第2版	2022年4月12日	一部説明追加
第3版	2022年6月15日	一部説明追加

McAfee Endpoint Security for Macは、マカフィー社が提供する、Mac端末用ウイルス対策ソフトです。

以下の注意事項について必ずインストール前にお読みください。

- ① 既にインストールされているウイルス対策ソフトは削除してください。
- ② コンピュータ上に開いている全てのプログラムを閉じてください。
- ③ McAfee Endpoint Security for Macをインストールするには、学内専用サーバとの情報交換が必要です。
インストールするためには**学内ネットワークに接続されていることが**条件となります。
学外からの場合は**VPN接続してください**。
 - ・インストールが正常に完了すれば、以後は学外ネットワークから利用できます。常時、VPN接続する必要はありません。
- ④ 個人所有PCでお使いの方は、本ソフトを利用できる期間は**神戸大学の構成員である期間**となっております。
本学構成員でなくなった後は**速やかにアンインストール**してください。

事前操作

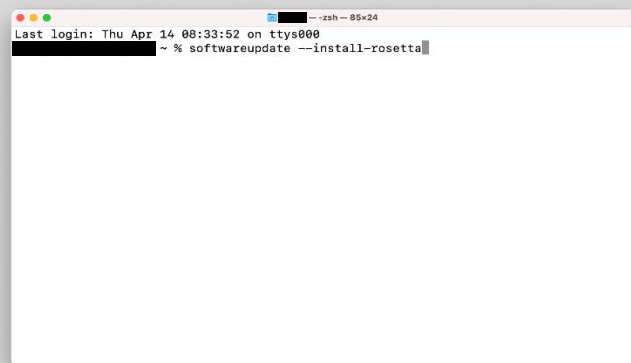
お使いのPCが **Apple M1** チップ搭載のマシンの場合は以下を実行してください。(Intelチップ搭載マシンであればスキップ)

- ・「Rosetta」プログラムのインストールをおこないます。
(既にインストールされている状態で実行しても問題ありません)

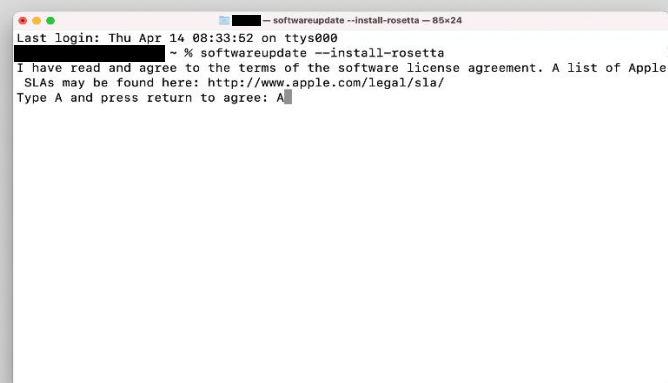
操作①:ターミナルを開く



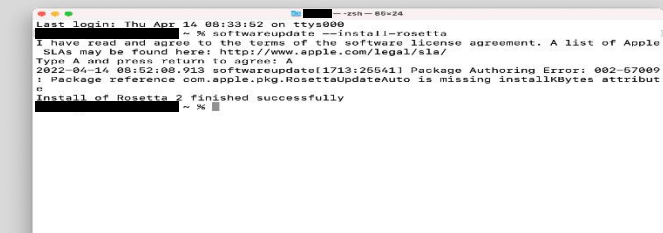
操作②: softwareupdate △ --install-rosetta と入力してenterキーを押す



操作③: ライセンス確認が表示されたら, 「A」を入力して enterキーを押す



操作④: インストールが実行される



◆ターミナルの開き方

Finder→アプリケーション→ユーティリティ→ターミナル

◆ softwareupdate △ --install-rosetta

△は半角スペース
installの前に -(ハイフン)
が2個, 後に1個

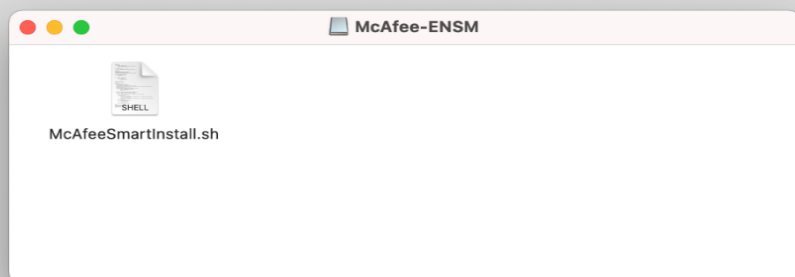
◆インストールが完了したら, ターミナルは閉じてください



手順1
ダウンロードサイトより取得したファイルの「McAfee-ENSM.iso」をダブルクリックします。
(画面はデスクトップ画面にダウンロードした場合)

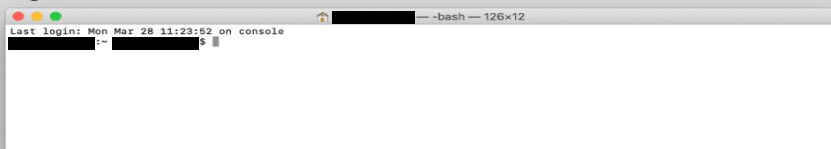


手順2
マウントされたドライブである「McAfee-ENSM」アイコンが表示されますので、ダブルクリックします。

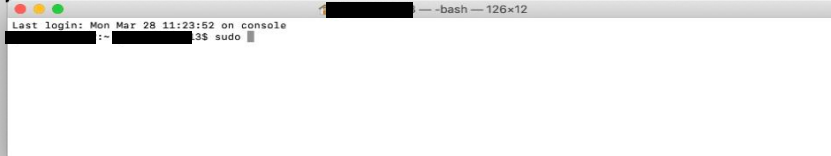


手順3
まず、McAfee管理エージェントプログラムをインストールする手順です。

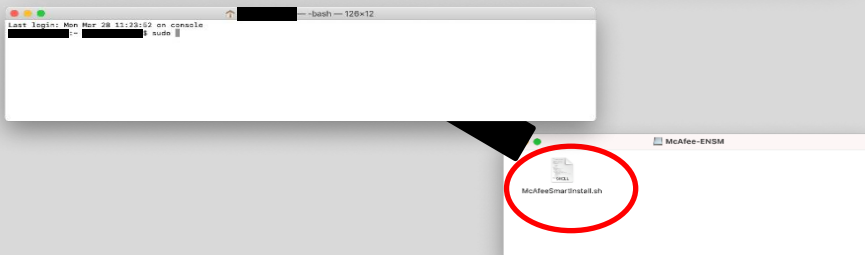
操作①: ターミナルを開く



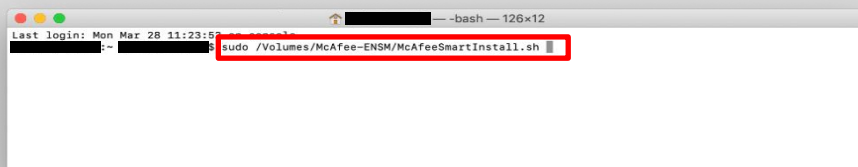
操作②: sudo△を入力(△は半角スペース)



操作③: 「McAfeeSmartInstall.sh」をターミナル内にドラッグ&ドロップする



操作④: sudoコマンドをenterキーを押して実行する。



手順4

ターミナルを開き, sudoコマンドにて「McAfeeSmartInstall.sh」を実行します。

「McAfeeSmartInstall.shのファイルパス」
(注)△は半角スペース

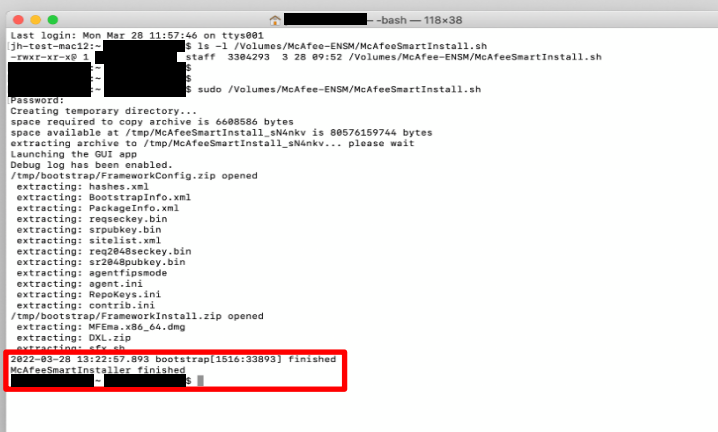
◆ターミナルの開き方
Finder→アプリケーション→ユーティリティ→ターミナル
◆McAfeeSmartInstall.shをドラッグ&ドロップすることにより簡単にフルパスが挿入できます。



手順5

インストールするMacの管理者になっているユーザーのパスワードを入力してenterキーを押してください。

※入力したパスワードは画面に表示されません。

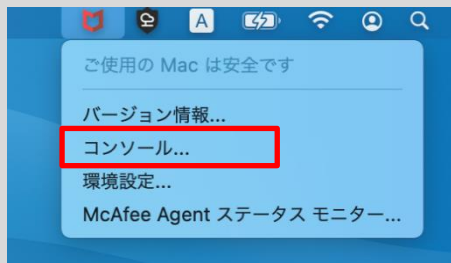


手順6

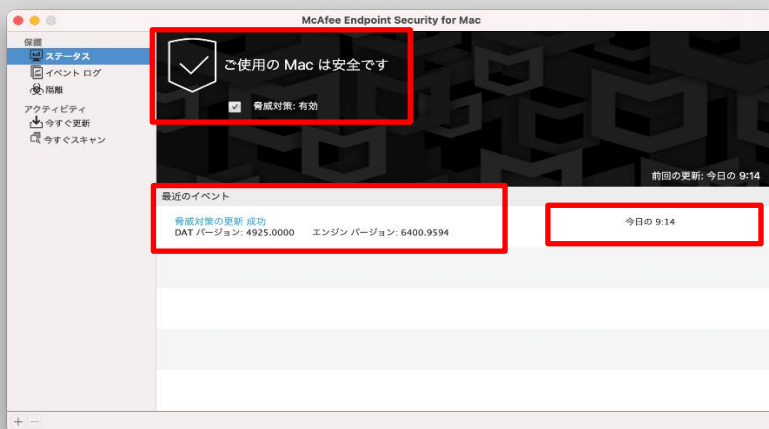
「McAfeeSmartInstaller finished」と表示されたことを確認し, ターミナルを閉じます。



インストールがある程度進むとメニューバーにMcAfee Endpoint Securityのアイコンが表示されます。



コンソール画面を表示します。



※DATとエンジンが正常に取り込みを完了すると脅威対策が有効になります。もしそうならない場合は手動で切り替えてください。手動で切り替える方法は、10ページ目の【補足】をご確認ください。

手順7

McAfee管理エージェントプログラムのインストールが完了するとバックグラウンドにてMcAfee Endpoint Security for Macのインストールが自動でおこなわれます。

インストールが完了するまで10分～30分ほどかかります。

学外からアクセスしている場合はインストールが完了するまで、VPN接続を保持してください。

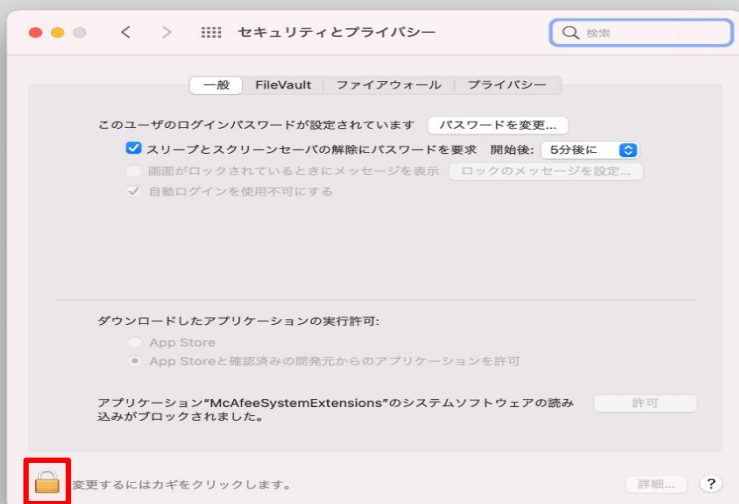
・脅威対策が有効になることを確認してください。

・最近のイベントでDATとエンジンが取り込まれたらインストールは完了です。

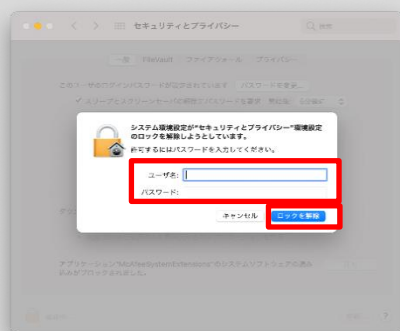


手順8

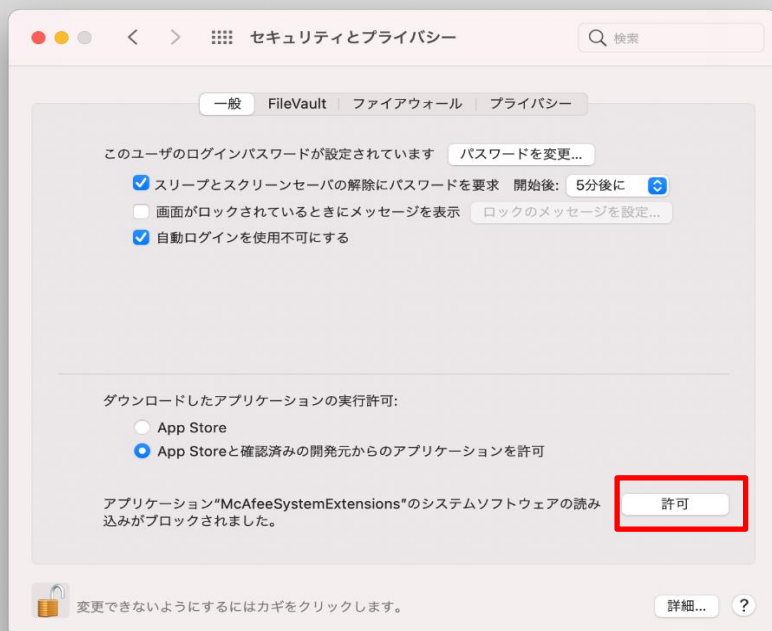
インストール完了後、端末使用中に、このような画面が表示されたら、「“セキュリティ”環境設定を開く」をクリックします。



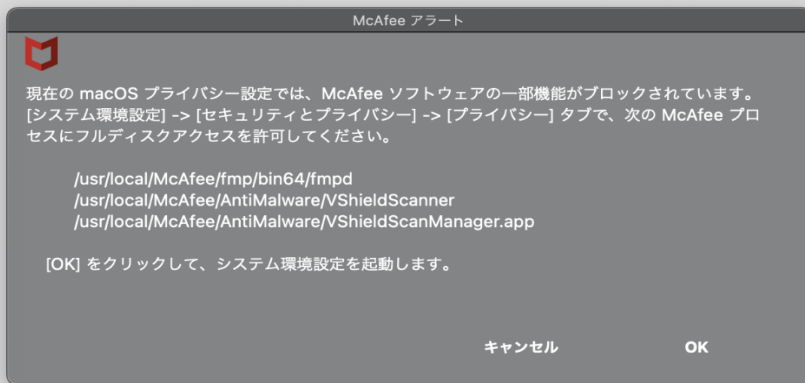
手順9
「変更するにはカギをクリックします。」のカギのマークをクリックしてください。



手順10
インストールするMacの管理者になっているユーザー名及びパスワードを入力し、「ロックを解除」をクリックします。

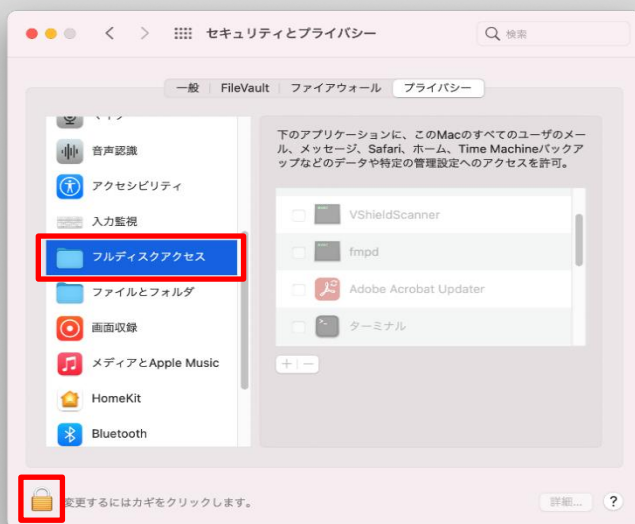


手順11
「許可」をクリックします。
ウィンドウを閉じます。



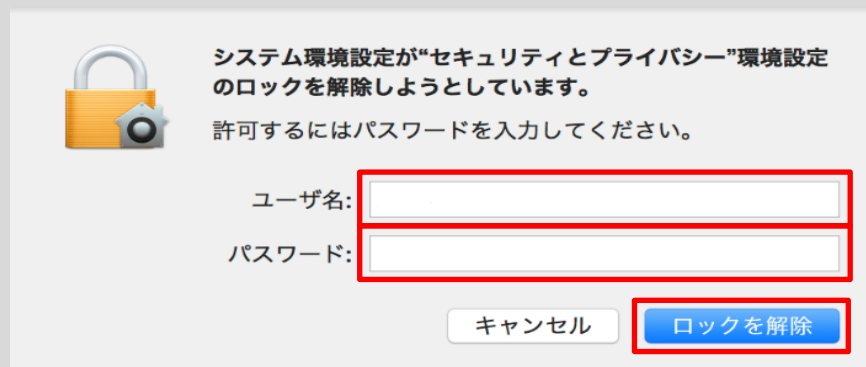
手順12

インストール完了後、端末使用中に、このような画面が表示されたら、「OK」ボタンを押して、セキュリティ環境設定を開きます。



手順13

「プライバシー」タブの「フルディスクアクセス」をクリックし、「変更するにはカギをクリックします。」のカギのマークをクリックしてください。



手順14

インストールするMacの管理者になっているユーザー名及びパスワードを入力し、「ロックを解除」をクリックします。



手順15

以下の「McAfee Endpoint Security」に関連する項目にチェックを入れます。

- VShieldScanner
- fmpd
- VshieldScanManager.app

※端末の環境やタイミングにより、3項目すべて表示されるとは限りません。

12ページ目は、コンピュータの検査を行う等の参考資料となります。

【補足】

※脅威対策が有効になっていない場合は、以下のように手動で変更してください。



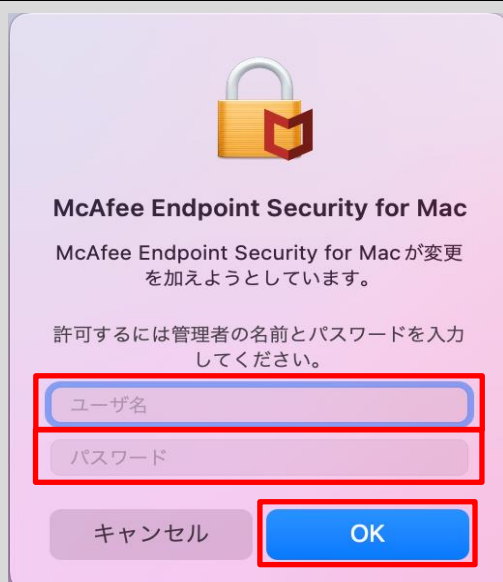
補足手順1

メニューバーの「McAfee Endpoint Security for Mac」をクリックし、「環境設定...」をクリックします。



補足手順2

「全般」タブを開き、左下の鍵アイコンをクリックします。



補足手順3

Macの管理者になっているユーザー名及びパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

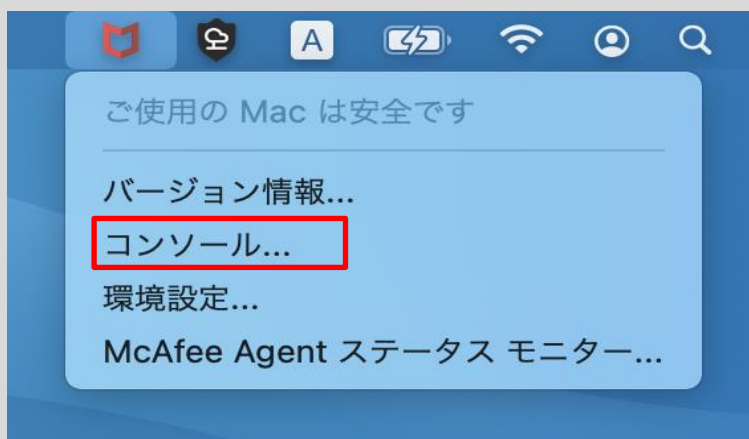


補足手順4

脅威対策の「オン」が、白くなっていることを確認します。
※macOS Catalina(10.15.*)をお使いの場合は、「オン」が青くなっていることを確認します。

確認したら、左下の鍵アイコンをクリックし、設定を保存します。

コンピュータの検査を行います。



手順1

メニューバーのMcAfee Endpoint Securityのアイコンをクリックし、「コンソール」をクリックします。

手順2

「今すぐスキャン」をクリックします。



手順3

スキャン対象のフォルダを指定し、「スキャン開始」をクリックすると、検査が開始されます。

